

【はじめに】

令和 6 年 4 月 27 日（土）、29 日（月）、5 月 3 日（金）、6 日（月）、11 日（土）の日程で千葉県高等学校総合体育大会サッカー女子の部が行われた。21 チームが第 13 回関東高等学校女子サッカー大会千葉県代表の 1 枠をかけてトーナメント方式で試合を行った。

ベスト 4 進出校は暁星国際、流経大柏、幕張総合、八千代松陰の 4 校で、準決勝がスポレクパーク、決勝 3 決がゼットエーオリプリスタジアムにて行われた。優勝が暁星国際、準優勝が流経大柏、第 3 位が幕張総合という結果にて、令和 6 年度千葉県総体の幕を閉じた。優勝した暁星国際は令和 6 年 5 月 25 日（土）から千葉県にて行われる第 13 回関東高等学校女子サッカー大会に出場する。

【今大会を振り返って】

今大会のベスト 8 は、公立 3 校・私立 5 校であり、所属リーグとしては関東リーグ 2 部 2 校・千葉県 1 部リーグ 6 校であった。昨年度から力を付けてきた学校が順当に勝ち上がった。準決勝は暁星国際対八千代松陰、流経大柏対幕張総合となり、関東リーグ出場の 2 校に力の差を見せられる結果となった。

準決勝・決勝 3 決の 4 試合では合計 11 得点（暁星国際 3 得点、流経大柏 7 点、幕張総合 1 点）がうまれた。点差の開いたゲームもあったが、守備からゲームの主導権を握ろうとするチームが多かった。ボールホルダーに対するファースト DF、カバーリング・セカンドボールの回収、奪ってからの素早い攻撃を、それぞれのチームとして徹底していた。特に優勝した暁星国際は選手一人ひとりの身体能力が高く、固い守備から鋭いカウンターをチームとして全体で共有できていた。

昨年度千葉県は、全日本高等学校女子サッカー選手権大会に 2 校（関東 3 位で暁星国際、関東 5 位で流経大柏）が出場した。千葉県としては初めての快挙であり、これは他の都道府県と比較しても千葉県女子サッカーが徐々に力を付けてきている証である。千葉県内の各チームが切磋琢磨することで、更に千葉県の女子サッカーは発展するであろう。千葉県で頂点に立つことは容易ではなくなってきており、今年度より 1 校のみが全国大会に進出することになることから、県予選は更に激しい競争が予想される。

【大会運営について】

今大会は台風や感染症による影響はほとんどなく、予定通りの日程で行うことができた。昨年度同様に決勝 3 決をスタジアムで開催することができ、多くの保護者や関係者の方々が見守る中で、見応えのある好ゲームを展開できたことは特筆に値する。また、今大会が大きな事故やトラブルがなく無事に終わられたことは、大会の運営に携わっていただいた全ての方々のお力によるものである。皆様方に感謝の意を表すとともに、優勝した暁星国際高校の関東高等学校女子サッカー大会での躍進を期待し、令和 6 年度千葉県高等学校総合体育大会サッカー女子の部の総評とさせていただきます。